

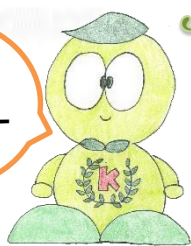
30周年 30th Anniversary

たかみらいふ！

～「たかみ」「みらい」「らifu」～

文責：コミュニティ・スクール推進員 大空 秀文

けやきの
けやっきー



菊の
菊之助



「たかみらいふ！」は、高美が丘小・中学校と地域のつながいをさらに深め、学校づくり、地域づくり、自分づくりを推進するために、コミュニティ・スクールである高美が丘小・中学校についてや、地域に関わる歴史、人物等をこのまちで暮らす皆様に発信するために作成しています。高美が丘小・中学校HP、高美が丘地域センターでカラー版掲載中！

風 土

「たかみらいふ！最終号」では、高美が丘小学校で行われた「とんど」についてと、「たかみらいふ！」結びの言葉を記させていただきました。

〇風土があって ～高美が丘小学校開校以来の伝統「とんど」～

3月1日（火）、高美が丘小学校で「とんど」がありました。昨年度はコロナ禍により中止、本年度も1月に実施を予定していましたが、まん延防止等重点措置のため、3月まで延期することとなりました。「とんど」は、本来であれば1月中旬頃に主に行いますが、“高美が丘小学校開校以来の伝統を絶やさない”という思いから、今年度は時期をずらし、規模を縮小することになって実施しました。

今年度の「とんど」は、高美が丘中学校校舎裏に自生している青竹を森林組合のご協力のもと伐採し、小学校PTA会長を中心とした保護者の方々、福永土木の方々、小学校教員、有志の中学校教員の方々に竹運びやとんど立てをしていただきました。「とんど」の中には、子どもたちの願いを書いた短冊や書初め、保護者・地域の方が持ち寄られたしめ縄飾り等も置いていきました。

当日は、雨空となりましたが、6年生によって灯された炎は、一迅の風とともに「とんど」を一気に駆け上がり、曇天をあけぼの色に染め上げていきました。雨中、「とんど」を見る子どもたちは、燃えゆく炎を見て、そして、爆ぜる竹の音を聴いて、気炎万丈、胸を躍らせているようでした。最後には、うねり上がった盛炎も、春の雨音とともに静かに穏やかに燃え尽きていくのでした。「とんど」を通して、子どもたち、高美が丘学区の皆様が無病息災を願うばかりです。今年度の「とんど」は、コロナ禍の影響もあり、人数を制限しての実施となりましたが、以前のような「とんど」を、いつの日かまた。



〇風土となって ～地域とともにある学校 高美が丘小・中学校コミュニティ・スクール～

賀茂学園都市開発事業により、新たに生まれた地は、「東広島の高台に位置する美しい丘陵地帯という、地理的環境に加え」、「これからも高い希望に満ちた、人と人の心のふれあいが芽生える場所（丘）であってほしい」という願いを込めて、「高美が丘」と名付けられました。

高美が丘の造成に伴い、杵原・高屋堀・高美が丘を学区とすることで、高美が丘小学校と高美が丘中学校が生まれることとなりました。平成の始まりとともに街びらきが行われ、令和を迎えた美しいこの地域とともに、高美が丘小学校と高美が丘中学校は30年の歩みを進めてきました。30年を通し、学校と地域が連携・協働することで、地域が学校活動を応援し、学校が地域づくりに貢献する中で、学校と地域との「つながり」、そして、この地の“風土”を育ててきました。

令和2年度からは、東広島初となる2校で1つの小中合同コミュニティ・スクールとなり、これまで以上に、“地域とともにある学校”を目指すこととなりました。コミュニティ（＝地域）とは、その土地の風土やそこに生きる人々によって形成されるとともに、その営みの重なりである歴史によって成り立つものではないでしょうか。コミュニティ・スクールは、そんな風土や歴史、そして数多くの人とのつながりがあるこそその学校です。

これからも、高美が丘小・中学校コミュニティ・スクールが地域とともにある学校であることを願い、以下の言葉を掲載します。

風土という言葉があります

動くものと動かないもの

風と土

人にも風の性と土の性がある

風は遠くから理想を含んでやってくるもの

土はそこにあって生命を生み出し育むもの

君、風性の人ならば、土を求めて吹く風になれ

君、土性の人ならば、風を呼びこむ土になれ

風は軽く涼やかに、土は重く暖かく

和して文化を生むものを

魂を耕せばカルチャー、土を耕せばアグリカルチャー

理想を求める風性の人、現実に根をはる土性の人、集まって文化を生もうとする

（玉井袈裟男『風土社』の設立宣言より一部抜粋）

読者の皆様、

2年間、「たかみらいふ！」を読んでいただき、誠にありがとうございます。この2年間、「学校づくり」、「地域づくり」、「自分づくり」を柱に、高美が丘小・中学校コミュニティ・スクールを推進してまいりました。貢献できたことは、わずかばかりですが、高美が丘小学校、高美が丘中学校、高美が丘学区について、どこよりも熱く紹介してきたつもりです。

これからのさらなる高美が丘学区の発展を願うとともに、この地でのご縁と数多くの出会いに感謝を含め、本誌の結びの言葉とさせていただきます。



高美が丘小学校・中学校

コミュニティ・スクール推進員 大空 秀文